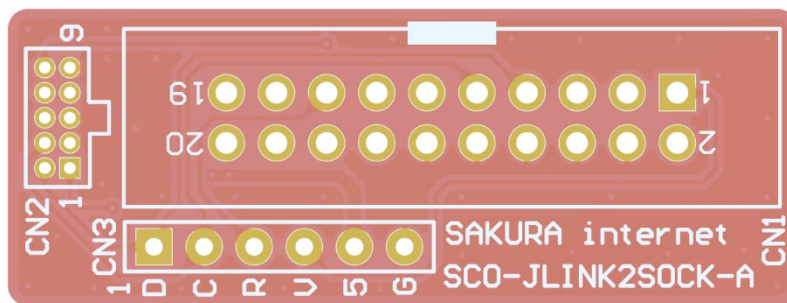


サンプル基板取扱説明書

J-LINK コネクタ変換基板 SCO-JLINK2SOCK-A

1. 概要

本資料は J-LINK コネクタ変換基板の取扱説明書です。



J-LINK コネクタ変換基板

目次

1. 概要.....	1
2. 必要な部材について.....	3
3. J-LINK コネクタ変換基板の利用例.....	4
3.1. J-Link と DIP 型 LTE モジュールの接続について.....	4
3.2. ブレッドボードなどでの利用例.....	5
3.1. M5Stack 向けもしくは Nucleo 向け変換基板での利用例.....	6
4. 注意事項.....	7
5. 改訂履歴.....	8

2. 必要な部材について

サンプル基板に必要な部品は別途購入する必要があります。下記に本説明書で使用する部品表を掲載します。部品表に記載した通販コード及びリンクは全て[株式会社秋月電子通商の通販ページ](#)から引用しています。

ブレッドボードに接続する場合

通販コード	品名 (リンク)	型番	必要数量
C-13176	ボックスヘッダ 20P(2x10)	BH-20SG	1
C-13800	ピンヘッダ 1.27mm 2x5(10P)	PH11-2x5SAG	1
C-00167	ピンヘッダ 1x40 (40P)	PH-1x40SG	1

M5Stack 向けもしくは Nucleo 向け変換基板に接続する場合

通販コード	品名 (リンク)	型番	必要数量
C-13176	ボックスヘッダ 20P(2x10)	BH-20SG	1
C-13806	ピンソケット 1.27mm 2x5(10P)	FH11-2x5SG	1

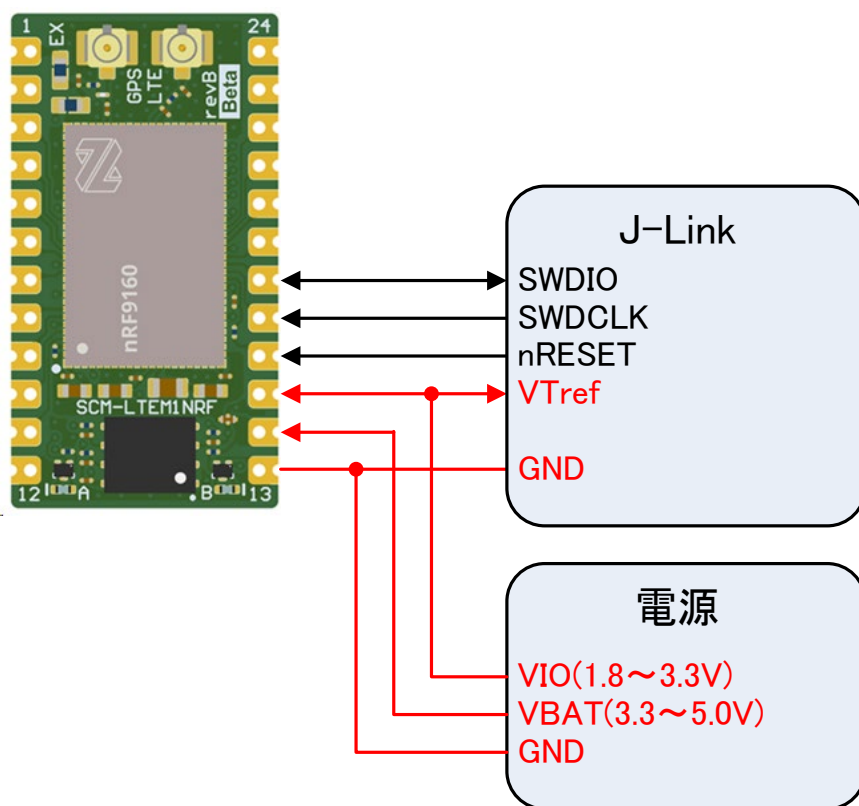
3. J-LINK コネクタ変換基板の利用例

3.1. J-Link と DIP 型 LTE モジュールの接続について

モジュール基板に搭載された nRF9160 のファームウェア書き換え及びデバッグは SWD インタフェースを介して行います。書き込みツールは J-Link を使用します。

次の J-Link シリーズで動作を確認しています。

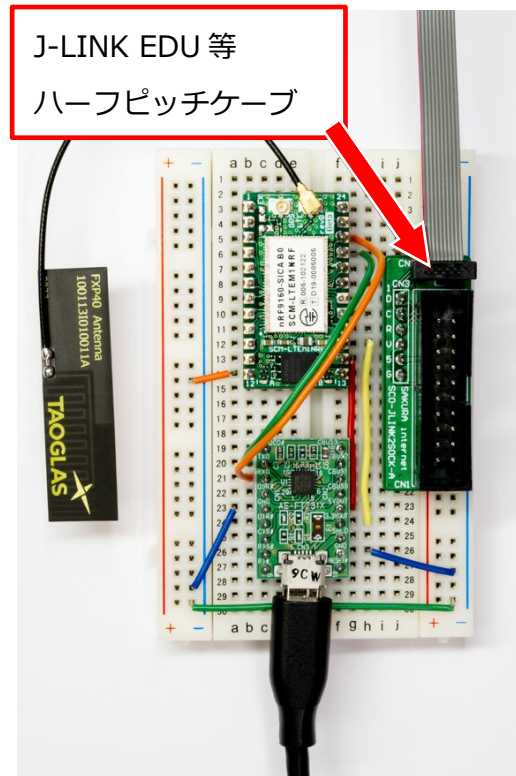
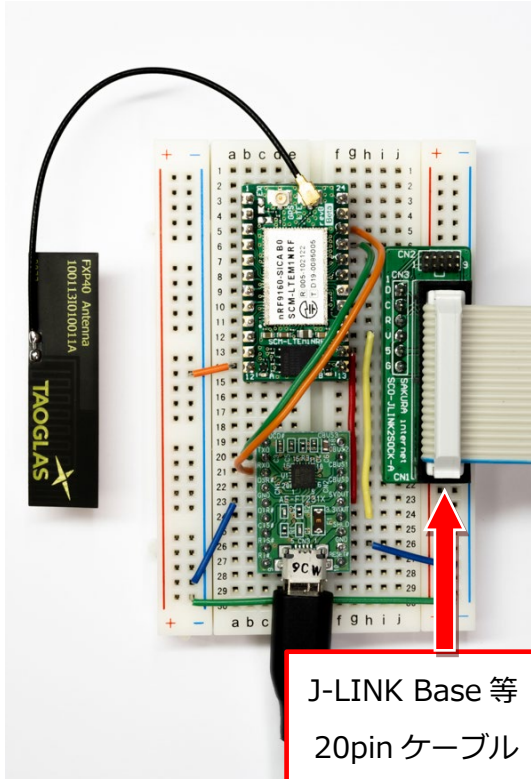
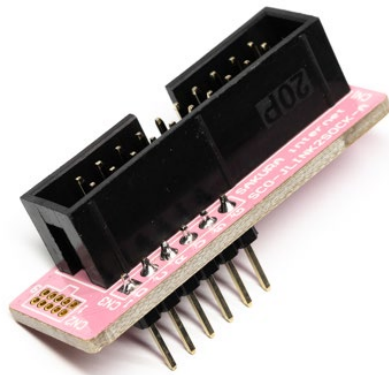
- J-Link BASE
- J-Link BASE Compact
- J-Link BASE EDU ※EDU モデルは製品開発には使用できません
- J-Link EDU Mini ※EDU モデルは製品開発には使用できません



3.2. ブレッドボードなどでの利用例

J-LINK コネクタ変換基板を利用して、ブレッドボードやユニバーサル基板を使って SWD インターフェースの接続を行うことができます。

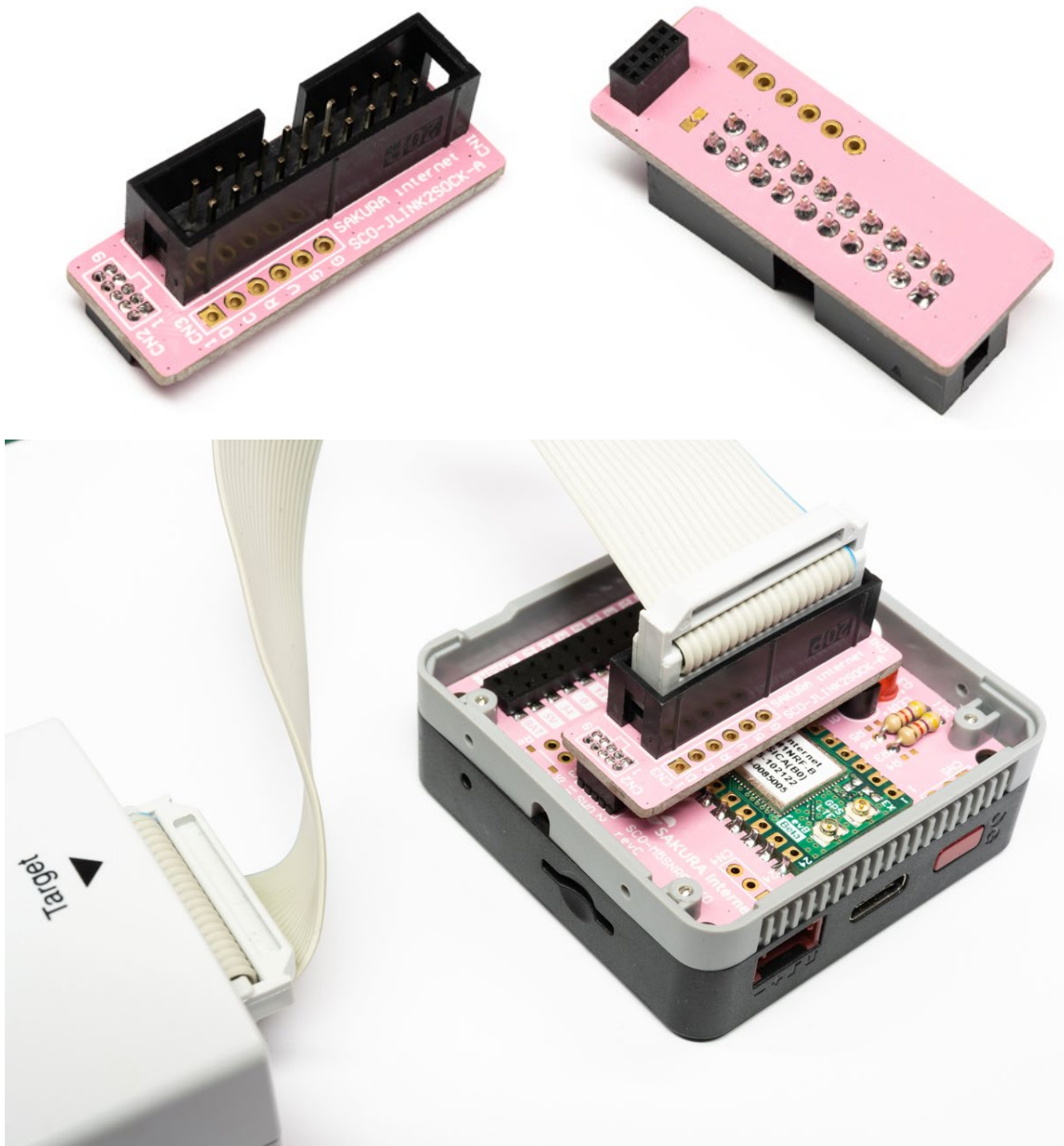
通販コード	品名 (リンク)	型番	必要数量
C-13176	ボックスヘッダ 20P(2x10)	BH-20SG	1
C-13800	ピンヘッダ 1.27mm 2x5(10P)	PH11-2x5SAG	1
C-00167	ピンヘッダ 1x40 (40P)	PH-1x40SG	1



3.1. M5Stack 向けもしくは Nucleo 向け変換基板での利用例

M5Stack 向けもしくは Nucleo 向け変換基板の SWD インターフェスコネクタに、J-LINK Base 等の 20pin フラットケーブルを接続する場合にコネクタ変換を行うことができます。

通販コード	品名 (リンク)	型番	必要数量
C-13176	ボックスヘッダ 20P(2x10)	BH-20SG	1
C-13806	ピンソケット 1.27mm 2x5(10P)	FH11-2x5SG	1



4. 注意事項

用途の限定

この製品は、特別に高い信頼性が要求され、その故障や誤作動が生命または身体に危害を及ぼす恐れ、膨大な財産損害を引き起こす恐れ、もしくは社会的に深刻な影響を及ぼす恐れのある用途に適用されることは意図されていません。購入者側の責任で以下を含む用途にこの製品を使用された場合、当社はいかなる責も負いかねますのでご了承ください。

原子力関連機器、航空宇宙機器、海底機器、電力制御機器、医療機器、輸送機器（自動車、列車、船舶等）、交通用信号機器、燃焼制御機器、各種安全関連機器、金融関連機器、昇降機器、その他これらの機器と同等の機器

屋外での使用

屋外で使用される場合や、防水性を要求されるような環境で使用される場合は、適切な防水構造の採用および結露対策を実施してください。

コネクタ

コネクタ挿抜時には、過度の応力を加えないよう注意してください。また、搭載時には、応力が連続して加わらないよう注意してください。

設置環境

誤作動や、動作不良が予想されますので、以下のような状態または環境条件下では使用しないでください。

- (ア) 液体の中、または腐食性雰囲気のある場所
- (イ) 高温が連続する場所
- (ウ) 潮風を受ける場所
- (エ) 直射日光を受ける場所
- (オ) 急激な温度変化がある場所
- (カ) ヒーターやエアコンなどの風を直接受ける場所
- (キ) 強い振動がある場所
- (ク) 強い電磁波がある場所
- (ケ) 帯電または静電気が発生する場所
- (コ) その他、これらに準じる条件下

5. 改訂履歴

日付	版	改訂内容
2022年3月31日	1.0.0	初版